



Cabinet Office,
Government of Japan

沖縄科学技術大学院大学（OIST） の会議施設について

令和5年7月6日

第26回国際会議等各種会議の
沖縄開催の推進に係る各省庁連絡会議

1. 目的

沖縄において世界最高水準の教育研究を行うことにより、①沖縄の振興と自立的発展、②世界の科学技術の発展に寄与することを目的とする(沖縄科学技術大学院大学学園法(平成21年法律第76号))。

2. 特色

大学院大学の設置主体として学校法人「沖縄科学技術大学院大学学園」を設立。
沖縄振興の観点から国が財政支援を行う(学園法)。

- ・学部の壁のない組織(単一の研究科・専攻)
- ・5年一貫制の博士課程のみ
- ・教育研究は英語で行い、学生・教員の半数以上は外国人。



(期待される沖縄振興への効果)

- ・科学技術の国際的な拠点の形成
- ・イノベーション・エコシステムの形成
- ・科学技術に関する人材の育成 等

3. 取組状況

※肩書、人数はOISTのHPより

○平成23年11月に学校法人を設立(大学院大学は平成24年9月に開学)。

(学園の理事等)

理事長・学長：カリン・マルキデス(元スウェーデン・チャルマース工科大学学長)

非常勤理事(15名)：ノーベル賞受賞者等の科学者、沖縄振興や大学経営に係る有識者等



カリン・マルキデス
理事長・学長



キャンパス外観

○教員87名(19の国・地域、外国人62%)を含め、計633名(うち外国人62%)が研究に従事。
(物理学、化学、神経科学、海洋科学(海洋気候変動含む)、環境・生態学、数学・計算科学、分子・細胞・発生生物学、工学・応用科学の8分野を基礎とする先端的・学際的な研究)(R5.6時点)

○学生255名(52の国・地域、外国人80%)で、累積で122名が卒業 (R5.6時点)。

○教員の評価は、採用時及び原則5年ごとに、外部の評価委員会により世界的に高いレベルの基準で実施。

○平成22年3月に第1研究棟、平成24年6月に第2研究棟、平成27年6月に第3研究棟、令和2年4月に第4研究棟、令和5年4月に第5研究棟を供用開始。

OISTメインキャンパス



キャンパス所在地：沖縄県恩納村
那覇市から車で1時間程度



キャンパス内の主な会議施設 (キャンパス内の位置)

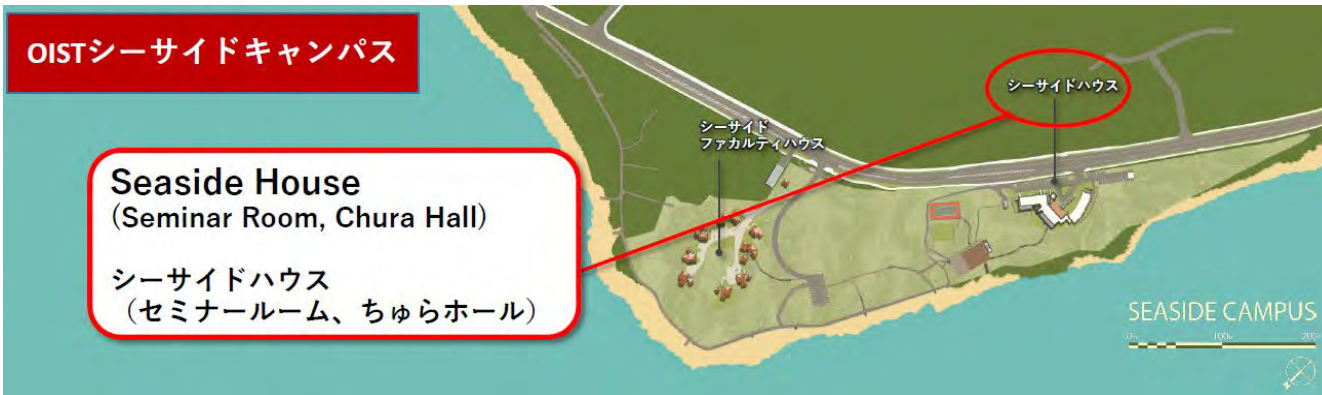
OISTキャンパス位置関係
(恩納村全体図)



OISTメインキャンパス



OISTシーサイドキャンパス



キャンパス内の主な会議施設

OISTメインキャンパス



<講堂>

- ・500名収容
- ・利用料 75,000円/終日



<ミーティング・ルーム1>

- ・最大130名収容
- ・利用料 10,000円/終日



<セミナールームB250>

(シドニー・ブレナー・レクチャーシアター)

- ・150名収容
- ・利用料 10,000円/終日

OISTシーサイドキャンパス



<セミナールーム>

- ・65名収容
- ・利用料 5,000円/終日



<ちゅらホール>

- ・65名収容
- ・利用料 5,000円/終日

会場の空き状況・利用申請の詳細はOISTのウェブサイトから確認可能。
<https://groups.oist.jp/ja/conference-venues/booking-venues-ext>

御参考：講堂の様子（令和5年5月19日 OIST学位記授与式）

